

喀什河は阿布拉爾山を以て崆克斯河と其の源を分ち、並行西流し、雅瑪吐に至りて會合し、伊犁河と爲る。全長約百里、寧遠城地方に於て、灌漑の利を與ふること最も多く、巴燕臺一帶の各回莊を貫流する所の大渠即ち七里溝は、實に同河水を引きたるものにて、是が爲めに灌漑せらるゝ耕地は十數萬畝を下らずと云ふ。

三 額魯齊斯河

額魯齊斯河は新疆の最北部に有りて、阿爾泰山脈に發源し、幾多溪谷の水を合せ西北流して國境を越え、一たび齋桑湖に滙す。全長百二、三十里、河幅甚だ廣からずと雖も、水量多く、舟楫に便なり。殊に烏隴古湖の北方なる都爾伯勒鎮より下流約五十里間は、優に小汽船を航行し得べく、往年露國は、汽船を浮べて蒙古の科布多方面の貿易に資せんと企てしも、清國之を拒絶せりと。該河は舟運と灌漑とに於て各地を裨益するのみならず、又川魚多きを以て名高く、毎年漁獵の産額尠からずと云ふ。

第五節 湖澤